

3類型	鈹工業品	通巻番号	4-27-002
地域資源名	伝統的工芸品(山中漆器)	認定日	平成27年7月6日
地域	石川県加賀市	所管省庁	経済産業省

事業名: 山中漆器の漆塗り技術を九谷焼磁器へ活用した商品の製造・販売事業

会社名: 有限会社浅田漆器工芸

所在地: 石川県加賀市山中温泉菅谷町ハ-215

連絡先: TEL: 0761-78-4200

H P: <http://www.uruwashikki.com/>

FAX: 0761-78-0470

事業概要(新たな活用の視点)

・漆では出せない純白色を持つ九谷焼磁器に山中漆器の近代漆器の塗りの技術の活用と当社独自の加工を施し、漆塗り磁器商品を完成させた。漆塗膜の特徴である、独特の光沢、美しさ、深み感、ふっくらした感じ、しっとりした質感と堅牢さがある。さらに、透明漆に顔料を調合した色漆によりカラフルな商品を提供し、今後、山中漆器と九谷焼のコラボ商品「加雅美」ブランドとして、新しい洋風タイプの食器類を市場に提供していく。



【色漆によるティーカップ】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

・これまでの陶胎漆器は、朱色・黒色が一般的であったが、本事業製品は、朱色・黒色以外にもパステルカラー等の淡い色合いの漆を活用した洋風タイプの商品であり、ライフスタイルに合わせて選べるカラーバリエーションで差別化を図っている。

◆市場性

・ターゲットとしているシニア・高齢者の嗜好性と購買行動には、使い心地を重視する意見が多く見られるが、ライフスタイルに合わせたカラーバリエーションのほか、磁器の持つ重量感と冷たいイメージに漆の暖かさとしっとりとした手触りを実現し、市場ニーズに合った商品となっている。

◆販路

・百貨店、セレクトショップ等での主にギフト商品として販路開拓を行う。既存の漆器の販路の他に、今後は新たに陶磁器としての販路開拓を行っていく。



【漆と九谷焼のコラボ商品】

地域資源における関係事業者等との連携

・加賀市打越製茶農業協同組合や九谷焼事業者との連携によるPR事業、石川県デザインセンターや石川県工業試験場との連携による商品開発等を進めていく。